

## ビジョンステートメント

アズリンダ・アズマン教授（博士）

マレーシア科学大学（USM）

マレーシア

azlindaa@usm.my

財務担当者としての主な任務は、国際ソーシャルワーク学校協会（IASSW）の資金を管理し、支出および収入に関する財務管理を適切に行うことです。支出を慎重に管理することの重要性を強く認識しており、そのため、計画されたプロジェクトが割り当てられた予算内で実施されることが極めて重要です。同様に、新たなプロジェクトやプログラムを提案する際には、IASSW のビジョンとミッションに沿っているかを十分に検討し、財務的責任を正当化する必要があります。

また、財務担当者には収入増加の取り組みにおいて協会を支援する役割も求められます。これは、IASSW の世界的なネットワークを強化し、可視性を高めることで可能となり、IASSW が財政的持続性を維持するために不可欠です。現財務担当者として、私は IASSW チームと協力し、より多くの機関会員および個人会員に働きかけ、会員拡大に努めてきました。これは継続的に計画・戦略化されるべき主要な収入源であると考えています。国際的な協会として、会員の地域的分布が適切に反映されるべきだと感じています。そのため IASSW は、特に現在十分に代表されていない地域において、潜在的なソーシャルワーク教育機関との連携を進める戦略を継続する必要があります。この目的のために、現代的または新たに顕在化する社会問題やソーシャルワーク専門職の対応に関する会議、ワークショップ、セミナーなど、共同で企画する学術的対話をさらに推進すべきです。これらは、潜在的な会員の獲得に向けたアウトリーチを強化する優れたプラットフォームとなります。これにより、IASSW の関連性が維持され、可視性が高まり、同時に協会の財政的基盤がさらに強化されます。

IASSW の財務担当者として約 4 年間務めた経験により、貴重な知識を得るとともに、IASSW の財務アカウントを円滑に管理することができました。毎年、対象プロジェクトやプログラムの予算配分は成功裏に実施されており、今後についても確信を持っています。私は年間予算や支出の管理に関する豊富な行政経験を有しており、2016 年よりマレーシア科学大学（USM）社会科学部の学部長を務め、9 年間ソーシャルワーク・プログラムの責任者を務め、USM の学生・校友担当副学長としても勤務しました。また、複数の協会で監査役、理事、委員を務め、財務リテラシーを高める経験を積んできました。

この役割を再び担う機会をいただけるのであれば、引き続き貢献し、さらなる役割を果たしたいと考えています。今後も倫理的かつ専門的に、最善のサービスを提供してまいります。